

「やさしい日本語」って なに？



ふだんつか ことば
普段使われている言葉を
がいこくじん こ こうれいしゃ しょう しゃ
外国人、子ども、高齢者、障がい者など
だれ わ はいりょ
誰にでも分かるように配慮した
ひょうげん ほうほう ひと
表現方法の一つです。



「やさしい日本語」は、どうやって作るの？

- ① 簡単な言葉を使う
- ② 一文を短くする(長い文章は複数の文に分ける)
- ③ カタカナ外来語やローマ字は言い換える
- ④ 擬音語・擬態語は使わない
- ⑤ 漢字の量を減らし、漢字にはふりがなを付ける
- ⑥ 年月日は西暦で、時間は12時間表記にし、スラッシュは使わない
- ⑦ 「おそらく」「たぶん」など曖昧な表現はしない
- ⑧ 二重否定の表現は使わない(「ないとは言えない」など)
- ⑨ 語尾を統一する
- ⑩ 話すときは、大きな声で、ゆっくり、はっきりと話す

おお こえ
大きな声で
ゆっくりと

はな
話して
ください



「やさしい日本語」は、なぜ必要なの？

より多くの人にわかりやすい情報を伝えられる言葉だからです。

えいご
英語じゃないんです!

「やさしい日本語」を作ってみよう！

- | | | |
|-------------|-----------|---------|
| Q1 記入してください | Q2 土足厳禁 | Q3 使用禁止 |
| Q4 レンタルする | Q5 大雨警報です | |

「やさしい日本語」答え(例)は裏です

